

著者紹介

石井 秀雄

複数の外国通信キャリアにて、IP/MPLS network と MPLS-IPVPN のネットワーク設計、構築、運用を行う。

板生 清

東京大学名誉教授。東京理科大学大学院教授(総合化学経営研究科長)、NPO 法人ウェアラブル環境情報ネットワーク推進機構理事長、精密工学会会長、著書「ウェアラブル・コンピュータとは何か」(NHK 出版、2004)など。

<http://www.npowin.org/j/index.html>

伊藤日出男(正会員)

産業技術総合研究所情報技術研究部門ユビキタスデバイス長。1984 年東北大学工学部電子工学専攻修士課程修了(工学博士)。同年、電子技術総合研究所入所。2001 年より産業技術総合研究所サイバースタディーズ研究センターデバイス研究チーム長。2004 年 7 月より現職。位置に基づく情報サービス技術について光・電波応用技術の観点から研究。電子情報通信学会、応用物理学会、日本光学会、IEEE、OSA 各会員。

E-mail:hideo.itoh@aist.go.jp

<http://www.carc.aist.go.jp/~itoh/>

鶴沼 宗利(正会員)

(株)日立製作所日立研究所、主任研究員。現在、歩行者ナビゲーション、行動認識技術の研究開発に従事。電子情報通信学会、電気学会各会員。

E-mail:unuma@hrl.hitachi.co.jp

占部浩一郎

1982 年通商産業省入省。2000～04 年 6 月まで、CICC シンガポール(JETRO シンガポール)に赴任。アジアに対する IT 協力、IT 動向の調査などを担当。

江崎 浩

1963 年生。福岡県出身。1987 年九州大学電子工学修士修了、(株)東芝入社。1998 年東京大学大型計算機センター(現情報基盤センター)助教授。2001 年同大学院情報理工学系研究科助教授。著書「IPv6 教科書」(IDC 出版)など。

大江 準三

自動車の情報通信機器、電波応用機器の先行開発および電磁波障害問題などの解析・設計法開発に従事。電子情報通信学会、自動車技術会各会員。

神沼 靖子(正会員)

1961 年東京理科大学卒業。日本鋼管、横浜国立大学、埼玉大学、帝京技術科学大学を経て、2003 年前橋工科大学教授を定年退職。現在、埼玉大学大学院などの非常勤講師、学術博士、フェロー。

川合 慧(正会員)

1944 年生。1967 年東京大学理学部卒業。1969 年同大同学部助手。1977～78 年英国ケンブリッジ大学客員研究員。1979 年同大理学部講師。1984 年同大教育用計算機センター助教授。1988 年同大教養学部教授。1996 年同大総合文化研究科教授。電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、ACM 各会員。

車谷 浩一(正会員)

産業技術総合研究所情報技術研究部門マルチエージェントグループ長。1989 年東京大学大学院工学系研究科博士課程精密機械工学専攻修了。工学博士。同年、電子技術総合研究所入所。1996～97 年スイス連邦工科大学ローザンヌ校人工知能研究所客員研究員。2001 年より産業技術総合研究所サイバースタディーズ研究センターマルチエージェント研究チーム長。2004 年 7 月より現職。マルチエージェントアーキテクチャ、

大規模システム(交通流、複雑系ネットワーク、経済)の大域的挙動の解析・制御問題の研究に従事。人工知能学会、AAAI 各会員。

E-mail:k.kurumatani@aist.go.jp

<http://www.kurumatani.org>

仙田 修司(正会員)

NEC インターネットシステム研究所勤務。1996 年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程修了。工学博士。同年 NEC 入社。オンライン手書き文字認識およびカメラ入力文字認識の研究に従事。電子情報通信学会会員。

E-mail:s.senda@ap.jp.nec.com

徳田 英幸(正会員)

1977 年慶應義塾大学大学院工学研究科修士。1983 年ウォータールー大学計算機科学科 Ph.D. (Computer Science)。同年カーネギーメロン大学計算機科学科勤務。1990 年同科学研究准教授。慶應義塾大学環境情報学部勤務。現在、同大学院政策・メディア研究科委員長。主に、分散リアルタイムシステム、ユビキタスコンピューティング&コミュニケーションの研究に従事。本会 SIGUBI 主査、IEEE、ACM、日本ソフトウェア科学会、電子情報通信学会各会員。

中島 秀之(正会員)

公立はこでて未来大学学長。産業技術総合研究所サイバースタディーズ研究センター研究顧問。1983 年東京大学大学院情報工学専門課程修了(工学博士)。2001 年より産業技術総合研究所サイバースタディーズ研究センター長。2004 年より現職。人工知能を状況依存性の観点から研究。主要編著書:「AI 辞典第 2 版」(共立出版)、「知的エージェントのための集合と論理」(共立出版)、「思考」(岩波講座認知科学 8)、「記号の世界」(岩波書店)、「Prolog」(産業図書)。認知科学学会、日本ソフトウェア科学会、人工知能学会、マルチエージェントシステム国際財団理事。

E-mail:h.nakashima@fun.ac.jp

<http://www.carc.aist.go.jp/~nakashima/>

中村 英史(正会員)

1993 年日本 IBM (株)入社。東京基礎研究所配属。3 次元グラフィクスアクセラレータのアーキテクチャの研究に従事する傍ら、設計・実装のプロジェクトに参加。その後、研究所の戦略チームスタッフなどを経て、2003 年よりオン・デマンド・イノベーション・サービス・チームの一員として、コンサルティング活動を通してサービスの現場で基礎研究を活用する方向を探索中。

西田 豊明(正会員)

1977 年京都大学・工・情報卒業。2003 年同大情報学研究科教授。東京大学大学院情報理工学系研究科教授(兼任)。人工知能、会話情報学、社会知のデザインの研究に従事。

別筒 正

(株)東京三菱銀行 EC 推進部門 IT 事業部シニア IT アーキテクト。先進 IT を活用した金融ビジネス・モデル、ビジネス・スキーム、対顧客様 IT チャネル・サービスなどの要件開発、アーキテクティング、実証実験を行っているアーキテクト。今回のプロジェクトにおいてもその役割を果たし、かつ東京三菱銀行側のプロジェクト・マネージャも務めた。また当システムの、銀行のお客様への展開を通じて、新たな改善やニーズの収集にも努めている。

松尾 和洋(正会員)

東京大学大学院物理学専攻博士課程修了後、University of California, San Diego (UCSD) に留学。富士通入社後は、国際情報社会科学研究所、富士通研究所を経て、現在 Fujitsu Laboratories of America, Inc., Senior Vice

President & College Park 研究所長。理学博士。人工知能学会理事、日本神経回路学会理事、Neural Network 誌 Acting Editor を歴任。Maryland 大学客員教授を兼務。

E-mail:kmatsuo@fla.fujitsu.com

水田 秀行(正会員)

1997 年東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了。同年日本 IBM (株)入社。東京基礎研究所でエージェントベース・アプローチによる排出量取引市場などの研究に従事。本会誌編集委員会編集委員会 SWG 主査および代表会員。

美濃 博彦(正会員)

京都大学学術情報メディアセンター教授。画像処理、人工知能、知的コミュニケーション関係の研究に従事。工学博士。IEEE、ACM、電子情報通信学会、画像電子学会、日本ロボット学会各会員。

<http://www.mmm.media.kyoto-u.ac.jp/>

森崎 修司(正会員)

平成 13 年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。同年(株)インターネットイニシアティブ入社。博士(工学)。インターネットを介したシームレスな知識共有に興味を持つ。EPC Global にて IC タグに関する標準仕様策定活動に従事。

矢入(江口) 郁子(正会員)

1994 年東京大学工学部卒業。1999 年同大学院工学系研究科博士課程修了。同年郵政省通信総合研究所(現、独立行政法人情報通信研究機構)入所。2003 年主任研究員。歩行者支援 GIS プロジェクト、RCT プロジェクト、実世界指向知的インタラクションの研究、映像と音を触るインタラクティブテーブルの研究等に従事。江口は旧姓。現在育児休暇中。博士(工学)。

矢野 直明

サイバーリテラシー研究所代表。編集者(ジャーナリスト)。朝日新聞出版局で「ASAHI パソコン」、「DOORS」などの雑誌を創刊。著書「インターネット術語集 I、II」、「サイバーリテラシー」、「情報編集の技術」など。

山下 眞澄(正会員)

日本アイ・ビー・エム(株)金融システム事業部 ICP シニア・コンサルティング IT アーキテクト。1978 年日本アイ・ビー・エム(株)入社。都市銀行や地方銀行を担当する SE、SE 課長を経て、現職は金融機関システムのアーキテクティングやエンタープライズ・アーキテクチャの構築支援を行う IT アーキテクト。アーキテクト育成や EA の研究を行う社内の IT アーキテクト・コミュニティのメンバの 1 人である。

山田 敬嗣(正会員)

NEC メディア情報研究所勤務。1987 年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程修了。工学博士。同年 NEC 入社。パターン認識・学習の研究、ユビキタスシステムの研究に従事。IEEE、電子情報通信学会、情報理論とその応用学会各会員。

E-mail:kg-yamada@cp.jp.nec.com

アテネでのオリンピックも残すところあと1週間となり(8/23現在)、連日寝不足の日々を過ごしている方も多いのではないのでしょうか。今大会はメダルを獲得する日本人選手が多く、見ている側もつい力が入り、日本人ってこんなにすごかったんだ!と思える競技を繰り広げてくれます。柔道や競泳、バレーボールなど話題になりやすい競技種目の他にも、たくさんの日本人選手が世界から集った強豪と技や力を競い合い、活躍している種目があるのを知るよい機会でもあります。自分を信じ、自分のやってきた練習のすべてをかけて試合に挑む選手たちを尊敬と羨望のまなざしで応援せずにはいられません。メダル獲得のニュースが毎日のように続き、その試合や試合後のインタビューの映像も流されています。関係者や応援してくれた人たちにも感謝の言葉を忘れず、嬉しさいっぱい表情をしている選手を見ていると、スポーツを通じて得られる精神的なものはすばらしいと思います。表彰台に立つことのできた選手にも、残念ながらそうでなかった選手にも温かい拍手を送り、ふたたび4年後のオリンピックを目指してがんばってほしいと思います。

オリンピックのニュースが真っ先に取りざたされて、少し影が薄くなってしまった感のある高校野球も見ました。

北海道と愛媛の決勝戦。序盤から点の取り合いで、激しい打撃戦を制した北海道駒大苫小牧が優勝し、初めて深紅の優勝旗を北の大地にもたらししました。昨年の覇者、常総学院といい、今年の駒大苫小牧といい、茨城と北海道に縁のある我が家では嬉しいニュースが続く夏の日でした。

自宅用に初めてMacを購入した、ワイヤレスのマウスを初めて使って感動した、ミュージカルを観てきた、小学校の同窓会に行ってみた…など、仕事以外のことを書きたかったのですが、先月、急遽、論文誌に異動との話があり、今月号の会誌特集やコラムの担当も途中で引き継ぎをしなければならなくなりました。編集委員の方々にはいろいろとご迷惑をおかけすることになり、お詫びとともに今までのご指導に感謝したいと思います。会誌業務と比べると、論文誌は原稿内容そのものにはノータッチで、論文管理の入力作業だけで一日がアツという間に過ぎていくような感じですが、まだ慣れないせいもあり、入力数自体も少ない数しかこなせておりませんが、徐々にこれから頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

(湯本祐子/研究部門)

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	edit@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
国 際	intl@ipsj.or.jp		国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会誌「情報処理」46巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

- 応募条件
- ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。
 - ・A4判（天地 297mm × 左右 210mm）4色フルカラー。
 - ・描画手法は問いません。
 - ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
 - ・応募資格は問いません。
 - ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

- 注意事項
- ・応募作品は希望がないかぎり返却しません。
 - ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
 - ・採用作品の著作権は（社）情報処理学会に帰属します。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
 - ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成16年11月1日（月）（必着）

結果通知 平成16年12月下旬

賞金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 （社）情報処理学会 会誌編集部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。

最近この目的をはずれ、「広告、諸勧誘、商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが、このような行為は厳重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも、再利用されることのないようご注意願います。

また、上記不正利用にあてはまらない場合でも、受け取った相手が不愉快な思いをされないよう、節度を持った利用をお願いいたします。

当会では、現在会員名簿を発行しておりません。

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、6月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、6月号の特集「自然言語による情報アクセス技術」に対して以下のご意見をお寄せいただきました。

■ 本特集は、興味ある内容が多く、楽しんで読むことができた。特に、Web検索の技術動向と評価手法や、Weblogの現在と展望は、最近の注目話題でもあり、興味深かった。(峯 恒高)

■ インターネット上の大量の情報から、求める情報を選択する研究の現状を知ることができたため、「情報抽出 一情報を整理して提示する」に対して、非常に興味を持った。(亀井靖高)

■ 今回の特集「自然言語による情報アクセス技術」については、自身が情報検索分野の研究に携わっていることもあり、興味深く読ませていただきました。今日に至るまでの自然言語処理・情報検索に関する種々の取り組みを理解する上で大変参考になりました。(佐藤慶三)

■ 今号の自然言語の話は文理融合領域を研究している私にとっては大変参考になりました。また、blogの話も現状をよくあらわしていて興味深かった。(匿名希望)

■ 「テキスト自動要約」において、著作権(同一性保持権)の問題にも触れて欲しかったと思います。(水野光朗)

■ 自然言語による情報アクセス技術の特集を、期待して読んで、最新の技術についての解説を期待していたが、特集の意図が、分野外の人に現状を知らせるというものだったようで、踏み込み不足を感じた。概要についてはあっさりと述べ、最新の部分についてはより深い解説というパターンがあるとうれしい。(匿名希望)

■ Web周りの技術には関心を持って読ませていただきました。ただ、既存データからいかに情報を抽出するかという方向の記事が中心であったので、機会があれば、特定のメタデータを付加するなど、用意されたデータ(情報)を用いることで、いかに有用な情報処理が可能かというアプローチの記事も読みたいと感じました。(匿名希望)

解説記事には以下のご意見をいただきました。

■ 「Weblogの現在と展望」: 不特定多数の人々に日記を公開する目的が今ひとつ理解できません。日記は、他人に見られて困る事柄を書くのが普通であると思いますが、私の考え方が古いのか、時代遅れなのか、どちらでしょうか。(水野光朗)

■ 「Weblogの現在と展望」について、最近になって周りの人からWeblogに関する話を聞くようになり、タイムリーに記事が取り上げられていたので非常に勉強になりました。(菅原宏之)

■ 「ネットワークトラフィックの自己相似性とその生成モデル」: 大変分かりやすい解説で役に立った。(匿名希望)

■ 「情報産業におけるブランドによる技術保護方策」: 自分の専門領域でもあるので、非常に関心深く読みました。非常に分かりやすく解説されていると感じました。もっとも、商標を付けた技術自体が業界標準になり、「登録商標の普通名称化」する恐れがあるので、これを防止してブランドの識別力を維持する努力は常に必要になると思われます。(匿名希望)

■ 「情報産業におけるブランドによる技術保護方策」: 「商標」で一番記憶に新しいのは、「阪神優勝」の騒動である。情報産業に身を置く者としては、それを面白く見ていたが、今回の記事で我々にも無縁ではない、情報産業にも「商標」が重要、効果的であることを、再確認させられた。(匿名希望)

連載「スマートタグ: ユビキタスIDセンター」にも多くのご意見が寄せられました。

■ 最近、RFIDが話題となっているが、現在のPCのようにウィルス対策とセキュリティ対策に追われることのないように、セキュリティ対策とプライバシー対策を万全にしたいと感じています。(松田昭信)

■ 「ユビキタスIDセンター」の記事は門外漢にとって大変参考となる内容でした。同時に、他の類似技術との違いについては「やはりどこかちょっと違う」で終わらずに、技術的な相異が理解できるように書いていただければより良かったのではないかと思います。(匿名希望)

■ トレーサビリティの話自体は面白いと思うが、最終的に野菜1つ1つにRFIDを付けるというのはどうかと思う。野菜は産地・生産者ごとに売り場に固められているため、1つ1つにRFIDを付ける必要性が分からない。(匿名希望)

コラム「地域社会とIT」に対しては、次のご意見が寄せられました。

■ 同じ地方の近隣県に関する内容でしたので、大変興味深く拝見させていただきました。地域社会においてこれからはますますIT化が進んでいくでしょうが、住民から求められるのは、やはり利便性の向上と個人情報の保護です。これは相反する課題であると思いますが、富山県の取り組みを簡潔に分かりやすく報告されているので、大変参考になりました。(匿名希望)

■ 行政のIT施策が、かつての1円入札の企業まかせの時代から、自分達のサービスを考える時代になってきているのだろうか。一方で、高機能な既製品が増えてきているのだから、市町村レベルではできるだけ作らずに既製品をインテグレートしてコストを抑えることも必要であろう。バランスが難しい問題である。(匿名希望)

コラム「日本のIT事情」に対しては、多くのご意見をお寄せいただきました。

■ 筆者の方と同じような経験をしています。勧誘の電話や宣伝メールの洪水に困っています。(水野光明)

■ 個人データの流失事件、また、winnyに流出してしまったデータを消せないことが、現実の社会問題としてある。この記事の通り、これからはネットワークからデータを完全消去する技術の確立も非常に重要であると思った。ハードウェアからソフトウェアにしかけをすることが考えられるが、今のところこれらは難しく、データを流さない工夫しかできないと思う。(匿名希望)

■ 大変参考になった。会誌のP.657の「会員各位」にもあるように、デジタル化の有無に関係なく、情報の一人歩き問題は憂慮すべき課題だと思う。(匿名希望)

■ サイバースペースのデフォルトが情報を記憶することであるというのは本当に怖い面もあると感じた。軍事的で整備されたインターネットは、一歩間違えれば戦争の引き金となってしまうと思う。(匿名希望)

コラム「アメリカITまわりの話題」には、以下のご意見をいただきました。

■ アメリカでのIT産業の現状を知ることができ、大変参考になった。(峯 恒高)

■ これから就職を考える時期なのでこの記事は興味深かったです。特にアメリカITの現状は知っておきたい話なので参考になりました。(匿名希望)

■ グローバル化の進展の中で、途上国などからは頭脳流出が起これ、先進国で知的所有権の保護が進み、さらなる国間の格差の広がりが予想される。オフショア化は、その流れを変えることができるのだろうか。(匿名希望)

コラム「情報技術と教育」にも、以下のご意見をいただきました。

■ 情報処理教育には、芸術はもちろん人文科学の知見が必要であると思います。と同時に、法的問題を考えるためには、社会科学の知識も必須です。倫理と法は、「似て非なるもの」です。(水野光明)

■ 長尾先生のご指摘は常に単刀直入であり敬服に値するもので、何度かくり返し読ませていただきました。(田中邦明)

■ 学生時代の頃をなつかしく思い出しました。プログラム作成演習の時、同一の課題なのに私のは約300行で友人は約100行で仕上げたので驚きました。機能的には同じなのですが、性能では友人のが優れていましたが、ユーザインタフェース、保守のしやすさでは私の方が良かったと思っています。ぜひ大学でいろいろな感性を磨いて欲しいと思います。(匿名希望)

今後取り上げて欲しいテーマや会誌の内容について、以下のご意見をお寄せいただきました。

■ ユビキタスコンピューティングやセンサネットワークなどについて、現在の課題を中心に取り上げてもらえるとうれしくなります。(峯 恒高)

■ UML2.0について、特集を組んでいただきたい。(亀井靖高)

■ 米国では人工知能の再ブームの気配がある。たとえば、マイクロソフトは自社のサポート技術情報を機械翻訳で提供している。公式な日本語訳が存在しないドキュメントは自動的に機械翻訳を提示するので、目にする機会も多い。ところが、翻訳の質はここ20年の成果がまったく活かされていないように感じる。システム作成はMicrosoft Researchが行っているようなので、難しいかもしれないが、ぜひ詳しく知りたい。(横山哲也)

■ 最近のシリコンバレーの状況、話題などをお願いします。(匿名希望)

■ 「量子通信」の現状を知りたい。(匿名希望)

■ 組み込みのシステム開発で使われている、リアルタイムOSについて企画をお願いします。(匿名希望)

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は、学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

【本欄担当 泉 正夫、鈴木 貢/書評・ニュース分野】

ご意見をお寄せください！！

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>

でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax:(03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4509.html>



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「インタラクシオン：技術と展開」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/hi.html	10月15日(金)		
	会誌「情報処理」46巻表紙デザイン募集 http://www.ipsj.or.jp/07edit/topic/design-boshu.html	11月1日(月)		
	平成16年度フェロー候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/fellow/index.html	11月5日(金)		
	論文誌「システム LSI の設計技術と設計自動化」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/sldm.html	11月15日(月)		
	論文誌「多様な社会的責任を担うコンピュータセキュリティ技術」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/csec.html	11月30日(火)		
9月16日(木)～ 9月17日(金)	第76回情報学基礎・第163回自然言語処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI76NL163.html	6月30日(水)	当日のみ	早稲田大学 西早稲田キャンパス
9月16日(木)～ 9月17日(金)	第53回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/GN53.html	8月6日(金)	当日のみ	岩手県立大学
9月17日(金)～ 9月18日(土)	第30回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MBL30.html	7月16日(金)	当日のみ	NTT武蔵野研究開発 センター
9月17日(金)～ 9月18日(土)	北陸支部「平成16年度電気関係学会北陸支部連合大会」 http://jhes.ec.t.kanazawa-u.ac.jp	8月10日(火)	当日可	金沢大学工学部
9月24日(金)	第35回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM35.html	7月23日(金)	当日のみ	秋田大学ベンチャー ビジネスラボラトリ
9月24日(金)	第46回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DD46.html	7月23日(金)	当日のみ	凸版印刷(台東区)
9月25日(土)	四国支部「平成16年度電気関係学会四国支部連合大会」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/sikoku/sikohome.html	7月30日(金)	7月30日(金) 当日可	徳島大学
9月27日(月)～ 9月28日(火)	東海支部「平成16年度電気関係学会東海支部連合大会」 http://db.elcom.nitech.ac.jp/rengotaikai_H16/	7月5日(月)	9月8日(水) 当日可	名古屋工業大学
9月27日(月)～ 9月28日(火)	九州支部「平成16年度電気関係学会九州支部連合大会」 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月20日(火)	9月1日(水) 当日可	鹿児島大学
9月28日(火)	第18回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ITS18.html	7月20日(火)	当日のみ	機械振興会館
9月28日(火)	連続セミナー 2004 第3回「カーベジコレクション技術の基礎」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/semiindex.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
9月29日(水)～ 9月30日(木)	東海支部「情報学ワークショップ2004(第2回)」開催案内 http://golf.cs.inf.shizuoka.ac.jp/informatics-ws/			静岡大学
10月1日(金)	第46回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/AVM46.html	8月13日(金)	当日のみ	九州大学ベンチャー ビジネスラボラトリ
10月2日(土)	第76回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CE76.html		当日のみ	静岡大学
10月13日(水)	ソフトウェアジャパン 2004 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2004/index.html	8月16日(月)	9月30日(木)	明治大学 アカデミーコモン
10月14日(木)～ 10月15日(金)	組込みソフトウェアシンポジウム 2004 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-ESS2004.html	7月23日(金)	10月7日(木)	日本科学未来館
10月14日(木)～ 10月15日(金)	第97回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/AL97.html	8月20日(金)	当日のみ	東北大学
10月16日(土)	平成16年度電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.yamaguchi-u.ac.jp/	8月10日(火)	当日可	山口大学
10月19日(火)	JABEE 普及啓発シンポジウム「本格段階に入った JABEE 認定制度の普及と活用」 http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/JABEEsympo2004.html		10月8日(金)	早稲田大学 井深大記念ホール
10月20日(水)～ 10月22日(金)	コンピュータセキュリティシンポジウム 2004 (CSS2004) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-CSS2004.html	8月16日(月)		北海道大学
10月21日(木)～ 10月22日(金)	第116回システム LSI 設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SLDM116.html	8月20日(金)	当日のみ	米沢市内 学術交流会館
10月21日(木)～ 10月22日(金)	第51回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO51.html	8月22日(日)	当日のみ	東京大学 駒場キャンパス
10月25日(月)	平成16年度関西支部支部大会 https://secure.kiis.or.jp/trn/ipsj-kansai/siburonbun.htm	8月20日(金)		大阪大学 中之島センター
10月26日(火)～ 10月27日(水)	MPS シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-MPS2004.html	6月16日(水)		名古屋大学
10月27日(水)～ 10月29日(金)	第137回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS137.html	8月27日(金)	当日のみ	ホテルメゾン軽井沢
10月28日(木)～ 10月29日(金)	第13回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/QAI13.html	8月20日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所
10月29日(金)	連続セミナー 2004 第4回「地球シミュレーター」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/semiindex.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
11月2日(火)	連続セミナー 2004 第5回「ヒューマノイド技術最前線」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/semiindex.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
11月4日(木)～ 11月5日(金)	第11回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EVA11.html	9月6日(月)	当日のみ	高知県工業技術センター
11月5日(金)～ 11月6日(土)	第57回音楽情報科学研究発表会発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MUS57.html	9月6日(月)	当日のみ	会津大学
11月10日(水)	第6回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/UBL6.html	9月10日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 三田キャンパス
11月11日(木)～ 11月12日(金)	第146回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CVIM146.html	8月31日(火)	当日のみ	慶應大学
11月11日(木)～ 11月12日(金)	第111回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HI111.html	9月3日(金)	HIP9 併催 宿泊申込別途必要	屋久島環境文化村セン ター

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
11月16日(火)～	第16回コンピュータシステム・シンポジウム	7月23日(金)		機械振興会館
11月17日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ComSys2004.html			
11月17日(水)～	第90回情報システムと社会環境研究発表会	8月27日(金)	当日のみ	静岡大学
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS90.html			
11月25日(木)～	データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム	9月9日(木)		日本科学未来館
11月26日(金)	(DBWeb2004)			
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DBWeb2004.html			
11月26日(金)	第77回情報学基礎研究発表会	9月10日(金)	当日のみ	筑波大学 筑波キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI77.html			
11月26日(金)	第117回グラフィクスとCAD研究発表会	9月22日(水)	当日のみ	早稲田大学(北九州キ ャンパス)
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CG117.html			
12月4日(土)	第26回電子化知的財産・社会基盤研究発表会	10月22日(金)	当日のみ	武蔵工業大学 横浜キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EIP26.html			
12月9日(木)～	分散システム/インターネット運用技術シンポジウム	9月6日(月)	定員になり次第	広島市まちづくり 市民交流プラザ
12月10日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-DSM2004.html			
12月9日(木)～	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2004」	9月13日(月)		立命館大学
12月10日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CH2004.html			
12月17日(金)	連続セミナー 2004 第6回「ICタグ」		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/index.html			
2005年				
1月11日(火)～	第46回プログラミング・シンポジウム	10月15日(金)		ウエルシティ湯河原 (予定)
1月13日(木)	http://www.ipsj.or.jp/prosym/			
1月20日(木)～	第135回データベースシステム・第10回放送コンピューティング 研究グループ合同研究発表会		当日のみ	浜名湖周辺
1月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DBS135BCC10.html			
1月20日(木)～	2005年情報学シンポジウム	9月27日(月)		日本学術会議講堂
1月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI2005.html			
1月31日(月)～	SAINT2005 2005年インターネット応用国際会議	7月1日(木)		イタリア(トレント)
2月4日(金)	http://www.saint2005.org			
3月2日(水)～	第67回全国大会			電気通信大学
3月4日(金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/67kai/index.html			
4月4日(月)～	The 7th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2005)	9月15日(水)		Chengdu, China
4月6日(水)	http://isads05.swjtu.edu.cn/index.htm			
5月30日(月)～	20th IFIP International Information Security Conference (SEC2005)	11月15日(月)		幕張メッセ
6月1日(水)				
9月7日(水)～	FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム			中央大学 後楽園キャンパス
9月9日(金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/index.html			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 8月17日 会誌「情報処理」46巻表紙デザイン募集(採用者には賞金5万円。ふるってご応募ください)
- 8月4日 JABEE普及啓発シンポジウム開催のご案内
- 7月20日 技術応用フォーラムが始動します

[学会からのお知らせ]

- 8月2日 平成16年度フェロー候補者推薦募集
- 6月24日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新いたしました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 20,000 円（+税）
賛助会員（企業） 30,000 円（ 〇 ）
賛助会員以外の企業 50,000 円（ 〇 ）

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。
*人材募集広告は会誌と同時にオーム社発行月刊誌「コンピュータ&ネットワーク LAN」にも掲載されます（料金の追加はありません）。ただしオーム社側の掲載については字数などの関係から大幅に編集されることをご了承ください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■会津大学

募集人員 (a) 教授 1 名 (CH04002) (b) 助教授 1 名 (CS04002) (c) 講師 1 名 (CH04001) (d) 講師 1 名 (CS04001) (e) 講師 1 名 (CH04003)

所属 (a) コンピュータ構築学講座 (b) ソフトウェア工学講座 (c) コンピュータ通信学講座 (d) オペレーティングシステム学講座 (e) コンピュータ教育学講座

応募資格 (a) コンピュータシステム設計、システムレベル記述言語、SOC 設計、コンピュータ設計教育などの研究に関心があり、研究指導できる方。詳細は <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCH.html> 参照 (b) ソフトウェア開発、プログラミング言語、ウェブ技術を含むソフトウェア工学に関する応用スキルと教育経験を有する方。詳細は <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCS.html> 参照 (c) コンピュータサイエンス、コンピュータ工学、電機・電子工学など関連の博士号を取得し、大学院博士前期後期課程でコンピュータネットワークシステム、通信ネットワーク技術、ネットワークセキュリティ関連分野の教育・研究指導ができる方。詳細は <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCH.html> 参照 (d) 先進的分散並行処理技術（ネットワーク化・メインフレーム・組み込みオペレーティングシステム、アルゴリズムおよび高性能コンピュータアーキテクチャ含む）分野を、学生に講義、研究アドバイスできる方。詳細は <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCS.html> 参照 (e) 動的再構成コンピューティング、非同期回路、EDA（設計自動化）、コンピュータ設計教育などの研究に関心があり、研究指導できる方。詳細は <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCH.html> 参照

着任時期 (a), (b), (c), (e) 平成 17 年 4 月 1 日（予定） (d) 平成 17 年 2 月 1 日（予定）

応募締切 (a), (b) 平成 16 年 9 月 30 日（必着） (c) 平成 16 年 10 月 31 日（必着） (d), (e) 平成 16 年 11 月 30 日（必着）

送付先 人事担当 E-mail:position@u-aizu.ac.jp 書類は英文添付（英文のみでも可）

照会先 (a) 教授 黒田研一 E-mail:ch04002@u-aizu.ac.jp (b) 教授 小佐野峰忠 E-mail:cs04002@u-aizu.ac.jp (c) 教授 加羅 淳 E-mail:ch04001@u-aizu.ac.jp (d) 教授 Stanislav G. Sedukhin E-mail:cs04001@u-aizu.ac.jp (e) 教授 黒田研一 E-mail:ch04003@u-aizu.ac.jp

■東海大学電子情報学部経営システム工学科

募集人員 教授または助教授 1 名

専門分野 ヒューマンサイエンス

担当予定科目 オペレーションズマネジメント、人間工学、アメニティ工学、ヒューマンインタフェース、人材開発論

応募資格 博士号を有する、あるいは採用後 1 年以内に取得可能な方。学生の教育に熱意を有する方、採用時に原則として 39 ~ 49 歳

着任時期 平成 17 年 4 月 1 日（予定）

提出書類 履歴書（連絡先と E-mail を明記、氏名・生年月日・学位称号・本務勤務先および職名・現住所・学歴・職歴・学会および社会における活動・賞罰を記載）、研究業績リスト（著書、論文、学会・学術集会発表、教育・啓蒙活動などを記載）、著書・論文・学会／学術集会発表の別刷（コピー可）

応募締切 平成 16 年 9 月 30 日（必着）

送付先 〒 259-1292 神奈川県平塚市北金目 1117 東海大学電子情報学部経営システム工学科 教員採用人事委員会 「経営システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません

照会先 経営システム工学科 学科主任 松丸正延 Tel(0463)58-1211（代表）(ext.4471) Fax(0463)50-2055

その他 選考結果の通知：応募者本人に通知します

■東海大学電子情報学部情報メディア学科

募集人員 講師以上 1名
 専門分野 (1) コンピュータ (2) ソフトウェア (OS, 情報処理システムなど)
 担当科目 コンピュータ基礎, コンピュータアーキテクチャ, コンピュータシステム, プログラミング実習など
 応募資格 まず教育・研究活動に強い情熱をお持ちで, 博士もしくは博士の学位相当の力をお持ちの方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書 (A4用紙ワープロ打ち, 氏名・生年月日・学位称号・本務勤務先および職名・現住所・学歴・職歴・学会および社会における活動・賞罰などを記載), 研究業績リスト (A4用紙ワープロ打ち, 著書, 論文, 学会・学術集会発表 (最近5年), 設計・計画・調査報告, フィールドワーク, 教育・啓発活動などを記載), 著書・論文・学会/学術集会発表・調査報告書などの別刷 (各1部, コピー可), 応募の動機・本学での教育/研究への抱負 (A4用紙ワープロ打ち, 1500字程度), 推薦をさせていただける方の氏名・所属先・連絡先・ご関係
 応募締切 平成16年10月8日 (必着)
 送付先/照会先 〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117 東海大学電子情報学部情報メディア学科 主任 大原茂之
 E-mail:ohara@tokai.ac.jp Tel(0463)58-1211 (ext.5080) Fax(0463)50-2412
 その他 書類選考後に面接を行います

■神奈川大学工学部経営工学科

募集人員 (a) 教授または助教授 1名 (b) 教授または助教授 1名 (c) 特別助手 (任期制) 1名
 専門分野 (a) 経営システム工学関連分野 (b) 情報システム工学関連分野 (c) システム工学, 情報工学
 担当科目 (a) マネジメントサイエンス, OR分野での学部および大学院における講義, 演習, 研究指導 (b) Information Technology, システム工学分野での学部および大学院における講義・演習・研究指導
 応募資格 (a), (b) 博士号取得者で研究実績があり, 熱意を持って教育できる方. 大学院博士後期課程を担当できる方 (c) 大学院博士前期課程修了者 (修了見込みも含む) または同等以上の研究業績を有する方. 平成17年4月1日現在の年齢が満35歳以下であること. 情報処理演習, 経営工学実験実習を担当できる方. 任用時に大学, または大学院に在籍する方は応募不可
 着任時期 平成17年4月1日 (予定)
 提出書類 履歴書, 教育研究業績: 研究概要 (A4用紙2枚以内) および論文リスト, 主要論文別刷 (5編 ((c) は一式), コピー可), 将来の研究・教育に関する抱負 (A4用紙3枚以内), 推薦書 *提出書類リストを添付のこと
 応募締切 平成16年10月15日 (必着)
 送付先 〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学 (学長室気付) 工学部長 西久保忠臣 (a) 「(マネジメントサイエンス) 教員公募」 (b) 「(情報システム工学) 教員公募」 (c) 「(経営工学科特別助手) 応募書類」とそれぞれ明記して書留
 *原則として応募書類は返却いたしません. 返却を希望される方はその旨明記してください
 照会先 工学部経営工学科 主任 栗原謙三 E-mail:kurihara@ie.kanagawa-u.ac.jp Tel(045)481-5661 (ext.3775) Fax(045)413-6565
 その他 選考の過程で健康診断書の提出を求められることがあります
 選考方法: (1) 書類審査 (2) 必要な場合は面談の機会を設ける
 採否通知: 平成16年12月末日までに採否に関する何らかの通知をする
 (a), (b) 待遇: 採用時における本学規程による (本学では専任教員定年年齢を現行70歳から65歳とする方向で検討しており, 今年度に当該規程が改正された場合にはこの規程が適用されることをご告知の上, 応募くださいますようお願いいたします. 詳細については人事室に照会してください)
 (c) 任期: 5年とする. 待遇, 任期の更新などの詳細に関しては人事室へ照会してください

■(独) 理化学研究所

募集人員 独立主幹研究員 2名程度
 研究実施場所 原則として和光キャンパス内
 専門分野 新領域開拓分野または異分野融合分野を含めた物理学, 工学, 化学, 生物科学または医学の科学技術分野で, 理研で実施可能な研究
 応募資格 平成17年4月1日現在 40歳未満で自然科学の博士号取得後, 原則として3年以上の研究経歴を有する方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 応募意向のある方は下記連絡先に応募資料をご請求ください
 応募締切 平成16年10月20日 (17:00 必着)
 送付先/照会先 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 独立行政法人理化学研究所研究調整部研究交流課 独立主幹研究員担当
 E-mail:dokuritsu@riken.jp Fax(048)462-4714 http://www.riken.jp
 その他 本件は政府予算の成立を前提としております
 契約期間: 契約は1年間で, 5年間で限度として更新可能

■大阪産業大学工学部情報システム工学科

- 募集人員 助手 1名
 専門分野 教育面では情報ネットワーク分野, 研究面では情報ネットワークあるいはその周辺分野
 担当科目 情報システム工学の実験および演習 (着任後, ネットワーク関連のインストラクターの資格を取得していただきます), ならびに, 演習室コンピュータシステムの管理. 将来, 情報ネットワーク関連の講義を担当していただきます
 応募資格 着任時 30 歳未満で, 情報工学分野で博士の学位を有する方あるいは着任後数年以内に取得可能な方
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書 (連絡先には電話番号と E-mail アドレスを記載), 業績リスト (論文, 国際会議論文, 口頭発表, その他に分けて記載), 業績リストに記載の口頭発表を含む全論文のコピー, 着任後の教育に関する抱負と研究計画 (1200 字程度)
 応募締切 平成 16 年 10 月 22 日 (必着)
 送付先/照会先 〒 574-8530 大阪府大東市中垣内 3-1-1 大阪産業大学工学部情報システム工学科 主任 能勢和夫
 E-mail:nose@ise.osaka-sandai.ac.jp Tel(072)875-3001 (ext.7632) 「教員応募書類在中」と明記し簡易書留
 *応募書類は原則として返却いたしません
 その他 選考方法: 書類による選考を行った後, 必要に応じて来学の面接を受けていただきます

■北海道情報大学経営情報学部経営ネットワーク学科

- 募集人員 教授, 助教授, または講師 1名
 専門分野 e- ビジネス, 情報システム, 経営戦略
 担当科目 e- ビジネス基礎 I・II, サプライチェーンマネジメント, 基礎および応用ゼミナールなど
 応募資格 修士の学位を取得している方またはそれと同等以上の優れた知識と実務経験を有する方
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究・教育リスト (著書, 論文, 国際会議論文, 教育経験のある方はその内容), 実務経験を記述した書簡 (実務経験のある方のみ) *採用決定前に医療機関による健康診断書を提出していただきます
 応募締切 平成 16 年 10 月 22 日 (必着)
 送付先 〒 069-8585 北海道江別市西野幌 59-2 北海道情報大学 学長 久野光朗 「e- ビジネス教員応募書類在中」と朱書き書留
 照会先 経営ネットワーク学科 主任 富士 隆 E-mail:fuji@do-johodai.ac.jp Tel(011)385-4411 (代表)
 その他 勤務形態: 常勤
 選考方法: 書類選考の後, 面接を行います
 採否の決定: 採否結果については, 決定次第応募者宛に通知いたします

■茨城大学工学部情報工学科

- 募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 ソフトウェア方法論, オペレーティングシステム, 情報工学主要分野
 応募資格 情報工学または関連分野の博士号を有する方
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日 (予定)
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 希望職名, 主要論文別刷 (10 編以内, コピー可), 教育・研究計画, 本人の所見を求め得る方 2 名の氏名 (所属・住所・職名・電話番号など)
 応募締切 平成 16 年 10 月 29 日 (消印有効)
 送付先/照会先 〒 316-8511 茨城県日立市中成沢町 4-12-1 茨城大学工学部情報工学科 学科長 岸 義樹 E-mail:kishi@cis.ibaraki.ac.jp
 Tel/Fax(0294)-38-5141

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部およびソフトウェア情報学研究所

- 募集人員 教授 1名
 専門分野 オペレーティングシステムまたは分散システム
 担当科目 学部のオペレーティングシステム論, 演習指導, 卒論指導, および研究科のオペレーティングシステム特論あるいは分散システム学のいずれか, 修論指導, 博論指導
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院博士課程の研究教育指導が担当でき, 情熱を持って教育・研究・学生指導にあたる方
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書 (学歴, 職歴, 学会活動, 受賞歴などを含む), 研究業績リスト (著書, 学位論文, 学術雑誌論文, 国際学会論文などに分類), 学位論文 (コピー可), 主要著書・学術論文別刷 (コピー可) と学位取得証明書, 教育に関する業績および教育に関する見解 (1000 字程度), 参考となる意見を伺える方 2 名からの推薦書
 応募締切 平成 16 年 10 月 29 日 (17:00 必着)
 送付先 〒 020-0193 岩手県滝沢村滝沢字菓子 152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部長 曾我正和 「OS/ 分散システム学講座教授募集書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 照会先 学部事務室 E-mail:softjimu@soft.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2502 http://www.iwate-pu.ac.jp/
 その他 選考にあたっては書類・業績審査の後, 面接を実施し, 決定いたします. 選考結果は応募者本人に通知します

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部およびソフトウェア情報学研究科

募集人員 教授 1名
 専門分野 認知工学（知能システム学、機械学習、知識と推論、自然言語処理など）
 担当科目 知識機械と自然言語処理、専門英語、ソフトウェア演習、知能システム演習、知能メディア特論、認知情報特論など学部・大学院での認知工学関連科目、ならびに修論・博論指導
 応募資格 博士の学位を有し、大学院の博士過程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導にあたる方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書（学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む）、研究業績リスト（著書、学位論文、学術雑誌論文、国際学会論文などに分類）、学位論文（コピー可）、主要著書・学術論文別刷（コピー可）、教育に関する業績および教育に関する見解（1000字程度）、参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成16年10月29日（17：00必着）
 送付先／照会先 〒020-0193 岩手県滝沢村菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 学部長 曾我正和
 E-mail:softjimu@soft.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500 Fax(019)694-2501 「認知支援システム学講座教授募集書類在中」と朱書し簡易書留 ＊応募書類は返却いたしません
 その他 選考にあたっては書類・業績審査の後、面接を実施し、決定いたします。選考結果は応募者本人に通知します

■筑波大学計算科学研究センター

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 高性能コンピューティングシステムの計算機アーキテクチャ分野
 職務 計算科学研究センター超高速計算システム研究部門において、高性能コンピューティングシステムの研究開発を担当。大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻における研究・教育、および情報学類（学部に対応）における教育を担当
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野において優れた研究業績があり、大学院・学類（学部に対応）における教育・研究の指導能力を有する方
 着任時期 決定後できる限り早い時期
 提出書類 履歴書、研究教育業績リスト（学術論文、国際会議論文、著書、特許などのリスト、所属学会での活動歴、社会貢献実績、教育実績、受賞歴）、主要論文別刷（5編以内、コピー可）、これまでの研究経過と着任後の研究計画、研究・教育に対する抱負（2000字以内）、参考意見を伺える方（3名）の氏名・所属・連絡先
 応募締切 平成16年10月29日（必着）
 送付先 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学 計算科学研究センター長 宇川 彰
 「超高速計算システム研究分野応募書類」と朱書し書留か宅配便
 照会先 計算科学研究センター 超高速計算システム研究部門長 佐藤三久 E-mail:msato@is.tsukuba.ac.jp TEL(029)853-5532
 その他 詳細は <http://www.rccp.tsukuba.ac.jp/> の公募情報を参照

■筑波大学計算科学研究センター

募集人員 講師 1名
 専門分野 データ工学。特に、大規模データの統合的利用にかかわる、データベース、知識発見、情報流通基盤などの分野
 職務 計算科学研究センターの計算情報学研究部門・計算知能分野における研究、大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻における教育（講義、研究指導補助）と情報学類（学部に対応）における教育。これらの組織の詳細は次のWebページをご覧ください。計算科学研究センター：<http://www.rccp.tsukuba.ac.jp> システム情報工学研究科：<http://www.sie.tsukuba.ac.jp> 情報学類：<http://www.coins.tsukuba.ac.jp>
 応募資格 博士の学位を有し（着任時期までに取得見込みも可）、専門分野において優れた研究業績があり、計算科学研究センターにおける計算科学での応用を視野に入れた研究と、大学院・学類における教育に熱意を有する方
 着任時期 決定後できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書（連絡先とE-mailアドレスを明記）、研究・教育に対する抱負と自己アピール（2000字以内）、研究業績リスト（学術論文、国際会議論文、著書、解説、その他の研究発表、特許などのリスト。共著者名はすべて記入）、主要論文別刷（5編以内、コピー可）、教育実績、学協会での活動歴・社会貢献実績・受賞歴、意見を求め得る方3名の氏名・所属・連絡先
 応募締切 平成16年10月29日（必着）
 送付先 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学 計算科学研究センター長 宇川 彰
 「計算知能分野講師応募書類」と朱書し書留か宅配便 ＊応募書類は返却いたしません
 照会先 （なるべくE-mailをお願いします）計算科学研究センター 計算情報学研究部門 北川博之 E-mail:kitagawa@cs.tsukuba.ac.jp
 Tel(029)853-5522
 その他 任期：平成21年3月31日まで（ただし、再任可）

■東北学院大学工学部電気情報工学科

募集人員 教授、助教授、または講師 いずれか1名
 専門分野 情報工学／コンピュータシステム、ネットワーク技術、情報信号処理技術など
 応募資格 博士の学位を有し、研究教育および学生指導に熱意のある方
 着任時期 平成18年4月1日（着任時期に注意）
 応募締切 平成16年10月30日（当日消印有効）
 照会先 電気情報工学科 教授 塩川孝泰 E-mail:shiokawa@tjcc.tohoku-gakuin.ac.jp Tel(022)368-7159 Fax(022)368-7070
 その他 詳細は <http://www.eng.tohoku-gakuin.ac.jp/> を参照のこと

■豊田工業大学工学部先端工学基礎学科

募集人員 教授 1名
 専門分野 情報数理分野。たとえば、知能システム分野（学習理論や最適化理論など）、人間-ロボット情報学、バイオメティクスなどの応用分野
 応募資格 博士の学位を有し、情報数理分野において優れた研究業績があり、今後、この分野の先駆的研究を推進できる方。教育面では、博士後期課程学生を指導できる能力を有し、計算機科学の基礎理論、たとえば情報数理、人工知能および計算理論などの高度な大学院レベルの講義が可能なる方。また、学部教育に関しては、数学科目の一部や情報に関する基礎科目も担当していただきます
 着任時期 平成17年4月1日、もしくはできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷（5編程度、コピー可）、これまでの研究の要約と着任後の研究・教育についての抱負（2000字以内）、推薦者2名の氏名・所属・連絡先
 応募締切 平成16年10月30日（当日消印有効）
 送付先 〒468-8511 愛知県名古屋市中天白区久方2-12-1 豊田工業大学総務部 倉田弘継 Tel(052)809-1750 Fax(052)809-1734
 「情報数理分野公募書類在中」と朱書き簡易書留 *公募書類は原則として返却いたしません
 照会先 情報数理分野選考委員会 委員長 教授 田中周治 E-mail:tanaka-2@toyota-ti.ac.jp Tel(052)809-1775

■豊橋技術科学大学知識情報工学系

募集人員 教授 1名
 所属 機能情報工学講座
 専門分野 知識情報工学・知能情報処理工学（特に、マルチメディア情報処理、生体情報処理、認知科学）
 応募資格 博士の学位を有し、専門領域に業績があり、大学院学生の研究指導ができる方。専門領域および情報基礎科目の講義を担当できる方。着任時の年齢は55歳以下が望ましい
 着任時期 平成17年4月1日
 応募締切 平成16年10月30日（必着）
 送付先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学知識情報工学系 系長 高橋由雅
 「教授応募書類在中」と朱書き書留
 照会先 大学院工学研究科 新田恒雄 E-mail:nitta@tutkie.tut.ac.jp Tel(0532)44-6890
 その他 応募資格の詳細、書類、送付先などは <http://www.tutkie.tut.ac.jp/koubo/koubo.html> を参照のこと

■明治大学理工学部情報科学科

募集人員 専任講師または助教授 1名
 専門分野 マルチメディア（ネットワークコンピューティング、ネットワークセキュリティ、コンピュータグラフィクス、ユビキタスコンピューティングを含む）
 応募資格 博士の学位（平成17年3月末までには博士号取得見込みの方を含む）を有し、着任時30歳代までの方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書、今までの研究概要（2000字以内）、発表論文リスト、主要論文別刷（3編、各1部）、教育への抱負と今後の研究計画（各2000字以内）、推薦書1通・照会可能者2名の氏名と連絡先（含むE-mailアドレス）、科学研究費・財団助成金などの取得状況
 応募締切 平成16年11月1日（必着）
 送付先／照会先 〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学理工学部情報科学科 担当 林 陽一
 E-mail:hayashiy@cs.meiji.ac.jp Tel(044)934-7475 Fax(044)931-5161 「教員応募書類在中」と朱書き書留

■ (独) 理化学研究所

- 募集人員 研究員 若干名
 所 属 脳科学総合研究センター ニューロインフォマティクス技術開発チーム
 専門分野 ニューロインフォマティクスを展開していく上での Data Mining, Data Sharing, Web 技術に興味がありその分野の知識・経験のある方
 応募資格 博士学位取得あるいは取得見込みの方
 着任時期 原則として平成 17 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷 (3 編), 研究業績と概要と今後の抱負 (1000 字程度), 所見を求め得る方 (複数) の氏名・所属・役職・連絡先, その他選考の参考となる資料 * 「「情報処理」を見た」と記載してください
 応募締切 平成 16 年 11 月 1 日
 送付先/照会先 〒 351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1 独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センターニューロインフォマティクス技術開発チーム チームリーダー 白井支朗 E-mail:saiyo@ni.brain.riken.go.jp Tel(048)462-1111 (ext.7602)
 その他 当チームの詳しい研究内容は, Web ページでご覧いただけます (<http://www.ni.brain.riken.jp>). また, 当チームが推進する視覚系ニューロインフォマティクスデータベースもご覧ください (<http://platform.visionome.org>)
 待遇: 1 年契約制 (評価により更新可能, ただし 5 年を限度とする) 年齢・経験に応じた年俸制, 社会保険完備, 通勤手当, 住居費補助

■ 文教大学情報学部情報システム学科

- 募集人員 助教授または講師 計 2 名 (下記の A 群・B 群で各 1 名)
 専門分野 システム分析/設計/開発の分野
 担当科目 A 群: システム分析, システム設計, データベースなど B 群: システム開発法, プロジェクトマネジメントなど
 応募資格 博士の学位を有する方またはこれに準ずると認められる研究業績を有する方. 教育に対する意欲と見識を有する方. 採用時に満 45 歳以下である方
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 教育研究業績書, 従来の研究内容の概説と今後の教育・研究内容に対する抱負, 学位証明書または最終学歴の修了証明書, 主要業績 (5 点程度, コピー可), 研究計画書・教育計画書・開発実績書
 応募締切 平成 16 年 11 月 5 日 (必着)
 送付先 〒 253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷 1100 文教大学情報学部 学部長 松原康夫 「情報システム学科教員応募書類」と朱書き書留 (担当科目など) 情報システム学科長 広内哲夫 (事務手続) 湘南校舎 庶務課
 照会先 Tel(0467)53-2111 (代表) (0467)54-3703 (庶務課直通)
 その他 審査の必要に応じて来校いただき, 面接を受けていただく場合があります. その際, 健康診断書を提出していただきます
 応募の詳細, および本学所定用紙の使用案内 (書式の説明を含む) については, <http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/> を必ずご覧ください

■ 神戸大学工学部電気電子工学科

- 募集人員 教授 1 名
 所 属 電子情報工学大講座
 専門分野 情報理論, 符号理論, 通信理論に関する学識を有し, これらの分野, あるいは情報セキュリティ, 通信ネットワーク, 無線通信技術, 情報通信システムなどの分野で優れた研究業績をあげておられる方
 担当科目 情報伝送, 情報理論など (学部), および通信情報特論, 情報ネットワーク特論など (大学院)
 応募資格 博士の学位を有し, 年齢 50 歳くらいまでの方
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書 (学歴, 職歴, 研究歴, 教育歴, 所属機関における活動, 受賞歴 (受賞理由を明記), 連絡先を記載), 学会ならびに社会における活動 (所属学会, 学会等役員, など), 研究業績リスト (著書, 学術論文 (専門誌掲載論文と国際会議論文を区別), 学術報告, 学術講演. 知的所有権もあれば記載), 研究費の導入実績 (科学研究費, 共同研究, 受託研究, 各種公的研究費, 奨学寄付金など, 代表者分のみについて項目別に記載), 研究業績の概要 (A4 用紙 2 枚程度), 教育に関する抱負 (A4 用紙 1 枚程度), 研究に関する抱負 (A4 用紙 1 枚程度), 主要論文別刷 (5 編程度, コピー可), 可能ならば, 応募者について照会できる 2 名の方の氏名と連絡先 (電話番号, E-mail アドレスを含む)
 応募締切 平成 16 年 11 月 8 日 (必着)
 送付先/照会先 〒 657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学工学部電気電子工学科 学科長 和田 修
 E-mail:wada@eedept.kobe-u.ac.jp Tel/Fax(078)803-6072 「応募書類在中」と朱書き簡易書留
<http://www.eeddept.kobe-u.ac.jp/> 「教員公募」を参照 * 応募書類は返却いたしません
 その他 適任者が得られない場合には, 再度公募することもあります

■広島市立大学情報科学部情報工学科

募集人員 (a) 教授 1名 (b) 助教授または講師 1名 (c) 助教授または講師 1名
 所属 (a) コンピュータシステム講座 (b) コンピュータアーキテクチャ講座 (c) 情報ネットワーク講座
 専門分野 (a) コンピュータアーキテクチャ, 並列・分散処理, システム LSI 設計 (b) 最適化コンパイラ, OS, 組み込みシステム, 数値処理 (c) 通信プロトコル, 通信ソフトウェア, 衛星通信ネットワークなど
 担当科目 (a) コンピュータシステム, LSI 設計と CAD など (b) データ構造とアルゴリズム, コンパイラ, 計算機数学など (c) ネットワークプロトコル, 情報ネットワーク, 情報工学実験など
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 16 年 11 月 15 日 (必着)
 照会先 情報工学科 学科長 教授 若林真一 E-mail:wakaba@ce.hiroshima-cu.ac.jp Tel(082)830-1760
 その他 詳細は <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/news/> 教員等公募情報を参照

■電気通信大学大学院情報システム学研究科情報システム設計学専攻

募集人員 助手 1名 (任期3年, 再任可)
 専門分野 同専攻データベース学講座に属し, 今日の多様なデータ共有管理システムのソフトウェアと処理技法について幅広く教育研究に貢献し得る方. P2P, ユビキタスなど新環境向けのデータ管理機構も可. XML や Web 処理自体は対象としない
 応募資格 ソフトウェア分野の大学院演習を補佐可能な方. 計算機分野の博士学位を有するか, 取得見込みの方
 着任時期 平成 17 年 4 月 (予定)
 提出書類 履歴書, 主要文献別刷 (3 件以内), 今後の研究分野についての意見書 (A4 用紙 1 枚程度)
 応募締切 平成 16 年 11 月 24 日 (必着)
 照会先 システム設計学専攻 教授 星 守 E-mail:koubo04@hol.is.uec.ac.jp または Tel(0424)43-5616 (大森) まで
 その他 詳細は www.is.uec.ac.jp 公募欄に掲載中

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部およびソフトウェア情報学研究科

募集人員 助教授または講師 1名
 担当講座 コミュニケーション学講座
 専門分野 インターネットおよびネットワークセキュリティを中心とする. さらに 3 年生の演習でネットワークプログラミングを指導できることが望ましい
 担当科目 情報メディア入門, コンピュータ序論, 情報ネットワーク論, 専門英語 I ~ III などソフトウェア情報学関連科目, ソフトウェア演習, メディアシステム演習
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院博士課程の研究教育指導が担当でき, 情熱を持って教育・研究・学生指導にあたる方. 年齢は 35 歳くらいまで
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書 (学歴, 職歴, 学会活動, 受賞歴などを含む), 研究業績リスト (著書, 学位論文, 学術雑誌論文, 国際学会論文などに分類), 学位論文 (コピー可), 学位取得証明書, 主要著書・学術論文別刷 (コピー可), 教育に関する業績および教育に関する見解 (1000 字程度), 参考となる意見を伺える方 2 名からの推薦書
 応募締切 平成 16 年 11 月 26 日 (17:00 必着)
 送付先 〒020-0193 岩手県滝沢村滝沢字菓子 152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部長 曾我正和
 「コミュニケーション学講座教員募集書類在中」と朱書き簡易書留か宅配便 *応募書類は返却いたしません
 照会先 E-mail:softjimu@soft.iwate-pu.ac.jp <http://www.iwate-pu.ac.jp/> Tel (019)694-2502 Fax (019)694-2501
 その他 選考にあたっては書類・業績審査の後, 面接を実施し, 決定いたします. 選考結果は応募者ご本人に通知します

■東京農工大学工学部電気電子工学科

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 デジタル処理, LSI 設計, マイクロ・プロセッサのいずれかに関する分野
 担当科目 論理・電子回路, 回路理論, 数値解析, プログラミングなどを予定
 応募資格 博士の学位を有するもの
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日を希望
 応募締切 平成 16 年 11 月 30 日
 送付先/照会先 〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 東京農工大学工学部電気電子工学科 関根優年
 E-mail:sekine@sekine-lab.ei.tuat.ac.jp
 その他 応募詳細は <http://www.tuat.ac.jp/koubo/> をご覧ください



ソフトウェアジャパン 2004

～ソフトウェアの明日が見える一日～ 参加募集

<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2004/>

有
料
会
告

日程:2004年10月13日(水) [引き続き, 14日(木)-15日(金)に組込みソフトウェアシンポジウム(会場:日本科学未来館)を開催予定]
会場:明治大学 アカデミーコモン(JR 御茶ノ水駅徒歩3分, 東京都千代田区神田駿河台, 情報処理学会事務局隣)
主催:情報処理学会
共催/協賛:情報処理推進機構, 情報サービス産業協会, 日本情報システム・ユーザー協会, 電子情報通信学会,
日本ソフトウェア科学会, XML コンソーシアム, ほか(予定)
後援:経済産業省, 総務省, 文部科学省, ほか(予定)

ソフトウェアジャパン宣言:日本のソフトウェアに新風を!

ソフトウェアシステムとソフトウェア工学が新たな進化の段階に変貌しつつあります。企業ソフトウェアシステムは Web を介して相互連携が進むとともにソフトウェアサービスという新たな利用モデルが広がりつつあります。一方、組込み/ユビキタスシステムの普及に伴い、現代社会はいたるところにソフトウェアがある「ユビキタスソフトウェア」社会へと進化しています。この結果、近年の大規模システム障害が惹起するように、ソフトウェアシステムの開発とオペレーションのリスクは社会全体を巻き込むほどに増大しています。

これに対して、ソフトウェア工学ではオブジェクト指向など様々な技術が統合され、進化を続けていますが、現場への普及は期待されているほどに進んでいません。わが国のソフトウェア産業の競争力の強化が求められています。ソフトウェアエンジニアリングセンターの設置はこの一環です。今こそ、わが国のソフトウェアシステムの研究・開発・運用に関わるすべての人々が、世界をリードできるソフトウェアシステムとソフトウェア工学の研究開発・実践へ挑戦すべきです。

「ソフトウェアジャパン 2004」は、ソフトウェア技術者、管理者、経営者が一同に会し、実務的な視点から研究開発と経験の交流を図り、わが国のソフトウェア産業が直面する挑戦課題と今後の展望を討議する新たな場として下記のようなプログラムを予定しています。多くの方の参加をお待ちしています。なお、詳細は「ソフトウェアジャパン 2004」Web ページに順次公開する予定です。

プログラム

基調講演, 招待講演, 一般講演, チュートリアル, パネル討論などを予定しています。プログラムの詳細は、Web ページをご覧ください。

【オープンセッション】

(1) ソフトウェアシステム技術の明日を拓く

- ・基調講演:もの造りとソフトウェア(仮題), 藤本隆宏(東大)
- ・大規模システム構築技術の今後, 上原三八(富士通研)
- ・ソフトウェア製品における開発プロセスとマネジメント

(2) 次世代ソフトウェアプラットフォーム

- ・ユビキタスネットワーク, 徳田英幸(慶応大)
- ・エンタープライズアーキテクチャ
- ・サービス指向アーキテクチャ

(3) ソフトウェア応用技術への日本からの挑戦

- ・ソフトウェアエンジニアリングセンターの構想(仮題), 鶴保 征城(IPA/SEC)
- ・情報家電のソフトウェア
- ・自動車とテレマティクス

(4) 企業における事例セッション

- (5) パネル:日本のソフトウェアを変えよう
コーディネータ:青山幹雄(南山大)

【プロフェッショナルセッション】

(1) テーマセッション

- a)ソフトウェアパターン
- b)開発マネジメント:プロジェクト管理, 女性 IT 技術者
- c)開発技術:要求工学, MDA(モデル駆動アーキテクチャ), アジャイル開発, ほか

(2) 論文発表セッション

詳細は Web ページをご覧ください。

参加費:オープンセッション(無料)とプロフェッショナルセッション(有料)があります。

プロフェッショナルセッションの参加費(すべてのセッションに参加できます):情報処理学会会員:5,000円, 非会員:10,000円

参加申込み:Web ページから申込み下さい。

問合せ先:情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail:jigyo@ipsj.or.jp 詳細は Web ページをご覧ください。

技術応用運営委員会:徳田英幸(慶応大, 委員長), 青山幹雄(南山大, 副委員長), 上原三八(富士通研), 竹林洋一(静岡大), 丸山 宏(日本 IBM)

ソフトウェアジャパン 2004 スポンサー/サポーター募集

情報処理学会では、「日本のソフトウェアに新風を!」を合言葉に、ソフトウェアに関する新たな活動を始めます。この活動に賛同頂ける企業、大学、団体などを募集しています。詳しくは、Web ページまたは jigyo@ipsj.or.jp までお問い合わせ下さい。

JABEE 普及啓発シンポジウム（経済産業省委託事業） 本格段階に入った JABEE 認定制度の普及と活用

—情報技術教育を中心とした促進策について—

■ <http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/JABEEsympo2004.html> ■

■ 会 期：平成 16 年 10 月 19 日（火）13：00～17：10

■ 会 場：早稲田大学 西早稲田キャンパス 早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール（新宿区西早稲田 1-6-1）
会場へのアクセス（早稲田大学キャンパスマップ）：<http://www.waseda.jp/jp/campus/index.html>
西早稲田キャンパスマップ：<http://www.waseda.jp/jp/campus/nishiwaseda.html>

■ 主 催：日本技術者教育認定機構

■ 協 賛：情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザ協会、日本技術士会、日本工学教育協会、日本機械学会、化学工学会、土木学会、日本建築学会、日本鉄鋼協会、資源・素材学会、応用物理学会、経営工学関連学協議会、農業土木学会、農学会、森林・自然環境技術者教育協会、日本生物工学会

■ 企画・運営：情報処理学会、電気学会、電子情報通信学会

■ 目 的：

平成 14 年に開始した JABEE による技術者教育の認定は、いよいよ本格段階に入って参りました。これまで、JABEE 認定教育プログラムから 1 万人を超える修了生が輩出され、今後も年々増加の見通しとなっております。

JABEE による教育プログラム認定は、教育における ISO9001 にあたる活動です。定めた目標の達成を指標としてプロセスの改善を重ねている教育プログラムを認定し、もってその成果である卒業生の質を保証しようというものです。現在、JABEE の活動に関する理解は広がりつつありますが、産業界での認知は途上であり、採用に際しての活用もまだ行われていない現状となっております。そこで、JABEE 認定の活動状況を産業界の方々に知っていただくとともに、その成果に対する期待・要望を向うことにより、この認定制度の一層の普及と活用の促進を目指し、シンポジウムを企画いたしました。

今回のシンポジウムでは、さまざまな分野に関連する「情報技術教育」を取り上げて議論いたします。また、情報技術者については、活動が多面にわたり、流動性が高く、その質が問われることから JABEE 認定のメリットが現れる分野となります。大学における「情報技術教育」の現状、情報分野の認定の状況、同時に産業界の視点から大学での「情報技術教育」に対する期待・要望を出していただき、社会の要請に見合った JABEE の活動となるよう発展させていくための方策について意見を交換し、産官学の協調の道を探ります。

今回、テーマとして「情報技術教育」を取り上げていますが、議論は技術者とその教育に関して必然的に広い産業分野に及んでいくこととなります。多数の企業からの参加を期待しています。

■ プログラム／参加申込／問合せ先

• プログラム

- 13：00～13：10 司会挨拶 筧 捷彦（早稲田大学教授、情報処理学会）
- 13：10～13：20 経済産業省 挨拶 市原健介（経済産業省・大学連携推進課）
- 13：20～13：30 文部科学省 挨拶 未定（文部科学省・専門教育課）
- 13：30～13：50 講演 1 「JABEE 活動の現状と展望」 小野田武（日本技術者教育認定機構副会長）
- 13：50～14：00 -休憩-
- 14：00～14：30 講演 2 「情報分野の技術者教育とその認定」 牛島和夫（九州産業大学教授、情報処理学会）
- 14：30～15：00 講演 3 「JABEE 活動への期待・要望」 佐藤雄二郎（情報サービス産業協会会長）
- 15：00～15：30 講演 4 「大学における IT 教育への期待・ユーザ企業の立場から」
細川泰秀（日本情報システム・ユーザ協会専務理事）
- 15：30～15：40 -休憩-
- 15：40～17：10 パネル討論「大学での技術者教育の改善に向けて」
座長：牛島和夫 パネリスト：小野田武、佐藤雄二郎、細川泰秀、筧 捷彦

• 参加費：無料

*ご来場の際は、申込完了後に申込受理メールをお送りいたしますのでそちらをプリントアウトしてご持参ください。

• 参加申込：参加希望の方は、以下の URL より事前申込をお願いいたします。

<https://secure1.gakkai-web.net/gakkai/jabee/>

• 申込締切：2004 年 10 月 8 日（金）

• 問合せ先：ご不明点などございましたら、E-mail:jigy@ipsj.or.jp へお問い合わせください。

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ、1/2ページまたは 1/4ページ	(主催・共催)	
			1ページ	52,500円
			1/2ページ	31,500円
			1/4ページ	21,000円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000円
			賛助会員（企業）	31,500円
			賛助会員以外の企業	52,500円

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mailまたはFax、郵送にてお送りください。
 [募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]
 *なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月15日を締切日とし、翌月号（15日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

(社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

◻◻ ACM・IEEE・IEEE-CSの会費割引特典について ◻◻

各学協会との協定により、本会会員の会費が割引になります（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照）。会員の皆様におかれましては大いに特典を活用していただき、学術・技術の向上にお役立てください。なお、入会申込み等詳細につきましては各事務局に直接お問い合わせください。

1. ACM (Association for Computing Machinery) <http://www.acm.org/>
正会員 (Voting Member) 会費を 20% 割引
2. IEEE (The Institute of Electrical and Electronic Engineers, Inc.) <http://www.ieee.org/>
IEEE-CS (IEEE Computer Society) <http://computer.org/>
Full Member (IEEE および IEEE + IEEE-CS の会員) の会費を 10% 割引

【照会／入会申込先】

- ◆ ACM 日本事務局
〒 107-0062 東京都港区南青山 5-10-5 九曜ビル 903
Tel (03)5466-1761 Fax (03)5466-1762
- ◆ IEEE 東京支部
〒 105-0003 東京都港区西新橋 3-6-2 ツカサビル 6F
Tel (03)5776-7670 Fax (03)5776-7671
- ◆ IEEE-CS アジア・パシフィック・オフィス
〒 107-0062 東京都港区南青山 1-4-2 南青山渡辺ビル 6F
Tel (03)3408-3118 Fax (03)3408-3553



会員サービスのご案内

会員の皆様に特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門 (E-mail: mem@ipsj.or.jp) までお寄せください。

- ◆ ホテル (5～30%割引)
サンルートホテル、チサンホテル、ホテル法華クラブ、ワシントンホテル、JR ホテルグループ、東急ホテルズ、プリンスホテル、第一ホテルチェーン、JR 東日本ホテルチェーン、ガーデンホテルズ、三井観光グループ/ホテル、全日空ホテルズ、都ホテルズ & リゾーツ、ホテル京急グループ、ダイワロイヤルホテルズ、エイチアールエヌ、ウィクリーマンション東京
- ◆ 研修・宿泊施設 社会経済生産性本部 IPC 生産性国際交流センター
- ◆ UC 丸善アカデミックカード (10%割引)
- ◆ コンピュータソフト パーシティウェブ (教育機関所属の方はアカデミック価格で)
- ◆ 日産レンタカー (35%程度割引)
- ◆ ニッポンレンタカー (最大 48%割引)
- ◆ パック旅行 (3～5%割引)
ジェイティービー、日本旅行、近畿日本ツーリスト、東急観光、京王観光、ジャルパックサービス、エンターテイメントエクスプレス

書評・会議レポート募集のお知らせ

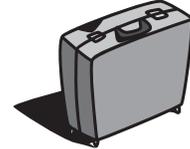
情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評 : 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



3. 応募の手続き

- 1) 表題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名(会議レポートの場合は筆者名)・所属・評者連絡先(住所、E-mail、Faxなど)の記載を忘れずに。
- 3) 本文: 書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>)を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会/応募先 (社)情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

情報処理学会からののお知らせ

情報処理学会電子図書館は BookPark に 移行しました

まずはユーザ登録を!

<http://www.bookpark.ne.jp/ipsj/>

BookParkに情報処理学会発行の出版物(会誌、論文誌、研究報告、欧文誌、英文誌)が載りました。創刊号から最新号まですべてのデータを収蔵。

情報処理学会会員の方は、無料*で閲覧することができます。

*BookParkで新たにユーザ登録を行っていただく必要があります。

*該当する出版物を購読されている方に限ります。また、会員の方でも会費や購読費が未納の場合、有料となる場合があります。

一般の方でも1編から購入することができますので、ぜひご利用ください。



ご意見をお寄せください！

【10月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4509.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mailで送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 9-
10. 今月号 (2004年9月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a…大変参考になった b…よい c…普通, どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

特集：ユビキタスコンピューティングとネットワーク社会の到来に向けて

ユビキタスサービスとネットワーク社会の到来に向けて	10-1-
ユビキタス情報処理による社会支援	10-2-
歩行空間のバリアフリー化を目指すユビキタス移動支援システム	10-3-
RFIDを用いた歩行者の経路誘導	10-4-
携帯カメラを用いたユビキタス情報インタフェース	10-5-
環境メディア	10-6-
ユビキタス時代のウェアラブル技術	10-7-
IP運用グループの活動と現在の問題、そして研究コミュニティへの提案	10-8-
自動車における情報通信技術の流れ (前編)	10-9-
企業組織をコミュニケーションから評価する	10-10-
Web サービス：Web サービス構築事例	10-11-
インターネット生活向上委員会：プログツールを利用したアイデア管理	10-12-
プログラム・ブロムナード：蜂の巣バケツで水を汲む	10-13-
アメリカ IT まわりの話題：Web 世界を安全にする試み	10-14-
日本の IT 事情：DTP 編集が伝統的な本づくりを破壊していく	10-15-
アジア IT 事情：アジアにおける IT 事情 (ASEAN 諸国の状況)	10-16-
20 世紀の名著名論：David Clark and David Tennenhouse：Architectural Considerations for a New Generation of Protocols	10-17-
20 世紀の名著名論：Russell, S. and Norvig, P.：Artificial Intelligence	10-18-
情報技術と教育：トップダウンに考える能力	10-19-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

千葉で40度を超え、東京であと0.何度で40度という観測史上初めての記録の猛暑の日にこの稿を書いている。が、オフィスにいる限り猛暑もまったく気にならない。冷気の吹き出し口の下に机がある筆者は、外はアスファルトの照り返しを受けて40度以上であろうとも寒くて仕方がないのでカーディガンを羽織ってこの稿を書いている。10mほど離れたところにいる若い人達は逆に相当暑いらしく、Tシャツ姿で局所的に扇風機を使っている。ふと気になって数えてみると半径10mの半円周線上に3台の扇風機が思い思いの形態で風を切っていた。彼らとの間は見通しが良く、間に何遮る物もない広いオフィスなので空気は自由に動くと思うのだが、冷気というものは、熱の本性上、かなり偏在するものらしい。

函館の方でも20年ぶりの猛暑なのであるが、こちらは30度を超える日が連続するという猛暑で、東京に比べるとかわいらしい猛暑である。先日稚内に出張したら、あちらは25度を超えたと行って騒いでいた。グローバルに見ても熱気は偏在している。

今回は、「偏在」ではなく、「遍在」の特集である。この特集の執筆者の方々は、北は函館から、南は京都まで、離散的ではあるがそこそこ遍在している。首都圏偏在でなくて良い傾向だと思う。ユビキタスコンピューティングが「pervade」

した社会になれば、少なくとも情報とサービスは日本国中偏在なくどこにいても同じ環境になる。日本のような狭い国で人が首都圏に偏在しなければならない理由はどんどん薄れていくだろう。

ユビキタスネットワークは何もインターネットに常時接続するだけの技術ではない。社会のさまざまな局面でコンピューティングパワーを享受するためのものである。函館では未来大学が中心となって電子百葉箱を設置してまわっている。気温や風向などのデータが実時間で収集できる。このデータを用いて風向きを予想し、造船所で塗料が周辺民家に飛散するのを避けるというプロジェクトも始まった。思わぬところに社会応用がころがっているものと思った。

駅のような社会インフラは、今でもバリアフリー化が急速に進んでいるが、本特集でも、ITを用いたバリアフリー関係の記事を2編書いていただいた。もう少し大きな文脈から見れば、特集全体がユビキタスコンピューティング技術によってバリアフリーを実現した社会を願ったものになっているとも言える。ユビキタス技術は、いろいろな意味での「偏」を「遍」に変えていくコンセプトであると読者に実感していただければ幸いである。

(天野真家／本特集エディタ、中島秀之／本特集ゲストエディタ)

次号 (10月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」音声情報処理技術の最先端

HMMによる音声認識と音声合成／統計的手法を用いた音声モデリングの高度化とその音声認識への応用／重み付き有限状態トランスデューサによる音声認識／話し言葉による音声対話システム／話し言葉における言い直しの処理／自動車の中での音声認識／擬人化音声対話エージェント

解説

SoftEtherの内部構造 登 大遊
自動車における情報通信技術の流れ(後編) 大江準三

連載 Webサービス／プログラム・プロムナード

コラム アジアIT事情／アメリカITまわりの話題／インターネット生活向上委員会／情報技術と教育／20世紀の名著名論／日本のIT事情

複写される方に

☐ <学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記のIn the USAに記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

http://www.copyright.com

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A4 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。